

保 健 所 運 営 協 議 会 開 催 結 果 報 告 書

令和5年度	日 時	令和5年7月13日(木) 午後2時から午後3時30分まで	出席者	委員 17名 (欠席 5名) 職員 5名 傍聴者 0名	協 議 会 役 員 名	会 長	小葉 裕成
	場 所	四條畷保健所		副会長		福田 泰樹	
議 事	議事の要点	委員の意見	保健所の回答		付記		
令和4年度四條畷保健所事務概要について	企画調整課業務について	・コロナが3年余り経過し、一通りの節目を迎えた中でも、その病床の増加強化ということも含めて、医療病床懇話会でどのような議論をされたか。	・2025年度に向けての病床機能に関して、コロナの病床は別に考えるとする等、病床機能の影響について活発な意見交換を行った。今年度の病床機能の検討においてもコロナの確保病床が課題としてあるが、それがどの程度影響しているのか、現時点ではわからない状況。				
	衛生課業務について	・受動喫煙防止について、大阪府の条例では役所は敷地内が禁煙となっているが、四條畷保健所管内の市役所には全て特定屋外喫煙所があるが保健所の見解は。	・大阪府の条例では努力義務で、お願いしている状況。これまでも担当者が声を掛けてきたが、今後も機会を作り、引き続き取り組んでいきたい。				
		・食品衛生法が改正されて新たな問題点はあるか。	・改正の大きなものはHACCP。本庁や保健所も普及啓発を行っているがなかなか進まないため、窓口でも説明を行い広めている。				
		・ふぐの飲食店営業の監視回数が増えているのはかなり注意して監視しているということか。	・保健所でも監視しているが、主に大阪府広域監視センターが積極的に監視を行っている。				
地域保健課業務について	・HACCPの手続き簡単ではないと思うが。	・業態や製造工程に応じて手続きが異なるので、大阪府広域監視センターとも連携して回り指導しているところ。また個別に対応していく。					
	・3年ほど前から大阪府においてウイルス性肝炎の簡易検査、精密検査等の助成があり、肝炎の医療コーディネーターを大阪府がやっているが、保健所で医療コーディネーターをどのように受け、また簡易検査もきちんとした形があるのか。 ・肝炎の団体が、啓発に取り組んでおられ、重症化にならないための事業も始まっている。早期発見・治療につなぐための啓発を保健所も団体等も含めて対応していただきたい。	・医療コーディネーターは保健所に3名(※)いる。相談についてコーディネーターは置いているが、実際に相談がほとんどない。 ・啓発に努める。 (※)実際には、4名いる。					
四條畷保健所での新型コロナウイルス感染症陽性者への取り組み	特になし	特になし	特になし				
管内の事業所と連携した従業員に喜ばれるヘルシーメニューの開発	管理栄養士養成校の学生によるV.O.S.メニューの考案、提供後の検討や効果、今後の取り組みについて	・V.O.S.メニューにはカロリーも考えて提供しているか。	・カロリー基準までは設けていないが、取り組みに当たり、活動量の多い事業所ということで、エネルギーも考慮したメニューを考えた。				
		・衛生管理はできているか。	・営業届出を出されている施設となり、食品衛生責任者が置かれ衛生管理が行われている。				
難病児者災害時個別避難計画作成に向けた管内市への支援事業	要援護者の実態、事例から見えた地域の課題、今後の取り組みについて	特になし	特になし				